

力を合わせて原水爆禁止2023年世界大会成功へ

今年は四年ぶり8月7日から9日まで現地長崎で開催されます。

大会のメインテーマは「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界をー 人類と地球の未来のために」

2023年1月世界の終末時計は人類の終末まで「残り90秒」と発表しました。2022年から10秒短くなっています。核兵器使用のリスクや気候変動や新型コロナウイルスなどの対応が要因です。

核兵器禁止条約が2021年1月22日に発効し、現在署名は92か国、批准は68か国へと前進しています。

昨年の核兵器禁止条約第1回締約国会議は、希望ある「ウィーン宣言」と「ウィーン行動計画」を採択しました。会議にはNATO加盟国のドイツ、ノルウェー、オランダ、ベルギーや、太平洋安全保障条約加盟国のオーストラリアなどもオブザーバー参加しています。

昨年12月の国連総会では、核兵器禁止条約促進決議が5年連続で6割を超える賛成で採択されました。国際政治の流れは核兵器廃絶へと大きく前進しています。

一方、ロシアによるウクライナ侵略から1年、核使用の威嚇が続いています。北東アジアでも事態は重大です。そして、アメリカや日本など同盟国の軍事力強化による対応、「核抑止力」固執の政策が緊張と危険を高めています。

いまこそ核兵器禁止条約を力に、国連憲章にもとづく紛争の平和解決と核兵器の全面禁止を求める世界の世論と行動を発展させる時です。そのためにも、重要な役割を持つ世界大会を成功させることが求められています。7月のウィーンでの次回NPT再検討会議の準備会合、11月の核兵器禁止条約第2回締約国会議へ核兵器廃絶を前進させようとするすべての政府と連帯し、世界の世論を核兵器全面禁止・廃絶へと動員する市民社会の結集の場として成功させましょう。

世界大会へ向けて

- ・国民平和大行進2023「原水爆禁止とともに戦争準備反対の声を広く結集する取り組みを成功させよう。長崎県内の平和行進は8月1日～6日。
- ・G7サミットに向けて行動しよう。
- ・「核兵器禁止条約参加署名」軸に国民的運動を起こそう。新しい署名リーフやポスターも活用を
- ・7月7日の新聞意見広告を賛同を呼びかけよう。
- ・被爆者を支援し、「被爆者の声を世界に」キャンペーンに取り組もう。
- ・全ての取り組みに若者の参加を、原水協の組織強化を。世界大会パンフの学習会を開こう。



日本政府は核兵器禁止条約に署名批准を

広島高裁『黒い雨』判決をふまえた 市民と研究者の意見交換会に多数ご参加ください

とき **5月11日(木) 午後1時30分開会**
 ところ **市立図書館メモリアルホール(興善町)**
 (どなたでも自由に参加できます。)

- **津村はるみさん** (香焼・被爆体験者証言)
- **本田孝也さん** (長崎県保険医協会会長)
「長崎原爆の雨地点と残留放射線のデジタルマッピング」
- **高辻俊宏さん** (長崎大学環境科学部名誉教授)
「マンハッタン調査団が測定したものは自然放射線であり、内部被ばくの影響はない」との主張に対する反論
- **大矢正人さん** (長崎総合科学大学名誉教授)
「長崎県専門家会議報告と厚労省見解」
- **司会 松本セツ子さん** (被爆体験者を支援する会)

会場とオンライン参加のハイブリッドでの開催
 沢山の参加を呼びかけます。
 オンラインで参加希望は下記へ連絡下さい。
原水爆禁止長崎県協議会
nagasaki65@forest.ocn.ne.jp



連絡先
長崎被爆地域拡大協議会 山本誠一 090-7160-8933
原水爆禁止長崎県協議会 佐藤澄人 090-9580-9739

長崎市立図書館 〒850-0032
 長崎市興善町1-1 TEL.095-829-4946

※意見交換会のあと、長崎被爆地域拡大協議会定期総会を開きます。(4時20分終了) 2023年4月11日発行 被爆地ニュース号外

核兵器のない平和で公正な世界を 原水爆禁止長崎県協議会ニュース 2023.5.6
 〒850-0035 長崎市元船町5-11-402 TEL 095-895-9106 FAX 095-895-9102